



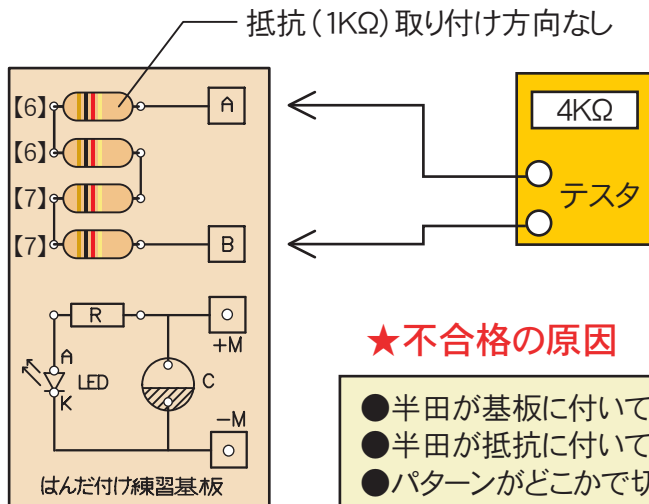
初めてはんだ付けされる方のために、はんだ付け練習基板を用意しました。この練習内容は基礎編と応用編に分かれ、どんな風に部品が接続されるか、どのようにすれば半田付けのミスが防げるか、実際に体験してみよう。

**用意するもの**

- 電気はんだこて
- ニッパ
- +ドライバ #2

<b>1. 基礎編</b>	4本の抵抗(1KΩ)を基板にはんだ付けし、テスタでA-B間の抵抗値を測ります。正しいはんだ付けは4kΩを表示し、はんだ付け不良があるときは∞Ωを示す。
<b>2. 応用編</b>	ダイナモ発電機を利用して、LED(発光ダイオード)を点灯させる回路を製作します。

**1. 半田付け練習(基礎編)**



**【手順】**

- ①抵抗2本をはんだ付けの基礎【6】の方法ではんだ付けする。
- ②残り2本をはんだ付けの基礎【7】の方法ではんだ付けする。
- ③テスタの抵抗レンジでA-B(半田面)の抵抗値を測る。

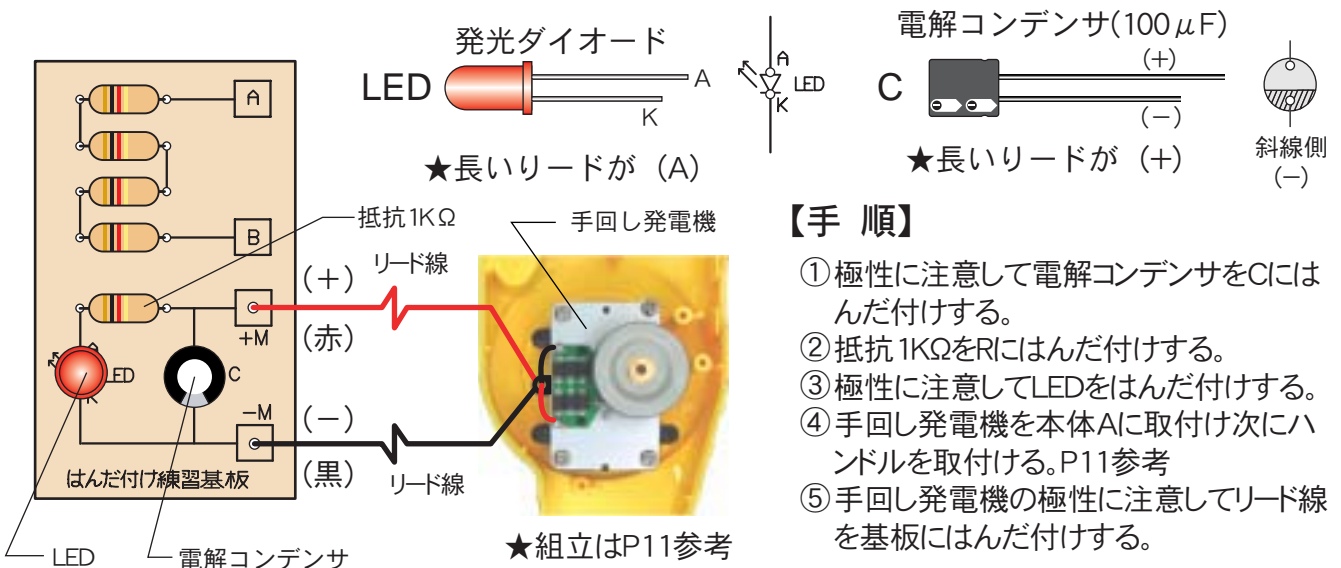
**【結果】** 測定値 4KΩ (合格)  
測定値 ∞Ω (不合格)

**★不合格の原因**

- 半田が基板に付いているが、抵抗に付いていない。(こてを再度当てる)
- 半田が抵抗に付いているが基板に付いていない。(こてを再度当てる)
- パターンがどこかで切れている。(ジャンパー線で修理する)

**2. 半田付け練習(応用編)**

**【発電機を回してLEDランプを点灯する】**



**【手順】**

- ①極性に注意して電解コンデンサをCにはんだ付けする。
- ②抵抗1KΩをRにはんだ付けする。
- ③極性に注意してLEDをはんだ付けする。
- ④手回し発電機を本体Aに取付け次にハンドルを取付ける。P11参考
- ⑤手回し発電機の極性に注意してリード線を基板にはんだ付けする。

★組立はP11参考